

## 今月のトピックス 「ジャガイモシストセンチュウについて」

### 1) 三重県でジャガイモシストセンチュウを発見

三重県で初めてジャガイモシストセンチュウが発見されたため、2月28日に特殊報を発表しました。国内では北海道、長崎県、青森県について4番目の発生です。

### 2) ジャガイモシストセンチュウとは

動物の仲間、線虫の一種です。ナス科植物を加害しますが、特にジャガイモでは収量減の被害が問題になります。

### 3) ジャガイモへの侵入

土中のシスト(図1)内で孵化した幼虫が根から侵入します。侵入後、雌の体は球状にふくらんでシストになり、収穫前には根から離れて土中にもどります。このシストの中には数百個の卵が入っていて、畑にジャガイモが植えられると再び根から侵入し、このサイクルが繰り返されます(図2)。

### 4) 被害の見分け方

三重県では現在のところ顕著な被害は認められていません。葉の萎凋や生育停滞、下葉の黄化、枯死等の症状が出るといわれています。生育の悪い株をそっと引き抜いてみて、根の表面に0.6mm位の黄色～褐色のシストが付着していたら、防除所等にお知らせ下さい。

### 5) 伝染の仕方

主にシストに汚染された土が農機具、タイヤ、靴などに付着して伝搬します。また、汚染された種イモの植え付け、雨水、風で伝搬することも知られています。

### 6) 発生地での対策

- ・ 抵抗性品種の導入が線虫密度を下げる一番有効な方法です。
- ・ 種苗検査に合格した種イモを植え付けます。
- ・ 他の圃場に土を移動させないように注意してください。
- ・ 土壌消毒を行ってください。

### 7) 今後の県の予定・対応

- ・ 発生地域では被害状況やその後の発生状況を追跡調査します。
- ・ 県内ジャガイモ産地での発生の有無を順次調査します。
- ・ ジャガイモシストセンチュウの対策に関する指導・助言を行います。

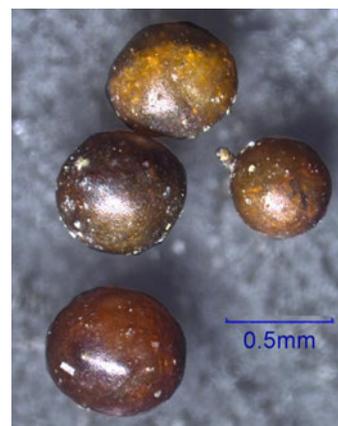


図1 シスト

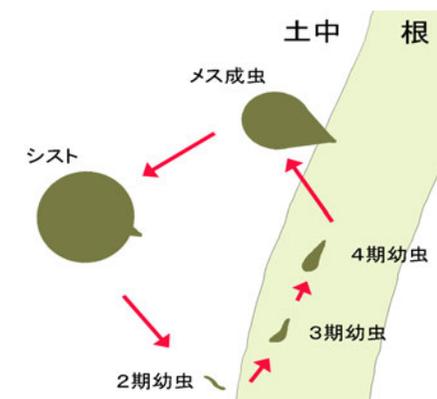


図2 生活サイクル